

現場を視て早期実現の糸口探る

本町の重要な問題で鹿児島県が事業主体である、県道長島宮之浦港線（平尾地区）整備の早期実現に向けた『現地調査および意見交換会』が9月10日、平尾交差点・平尾中南公民館で開催されました。

平尾地区県道現地調査および意見交換会



交差点付近の橋は狭く、離合が困難

この日は、午前7時30分に川添健町長をはじめとする町関係者、濱上實則町議会議長をはじめとする町議会議員、中村眞県議会議員、県関係者、地元関係者らが平尾交差点に集合して現地を視察。児童・生徒の登校の様子や交差点、道路の混雑具合、離合の危険性などを確認しました。

その後、平尾中南公民館へ移動して意見交換会が行われ、冒頭で川添町長は「学校、病院、農協などがある生活の交流地点が放置されている道路である。地域住民、議会の皆さんの力を得て、事業の見通しがつくまで、行動とお願いを続ける」とあいさつしました。会では、地元住民から「歩道がないので児童・生徒は危険」「地権者の同意が難しいという問題がある」「郵便局付近の橋の離合が特に困難」「信号待ちの車両が停車していると、大型車は大回りになり歩道へ乗り上げる」「母良木公民館の屋根が何度も壊される」「バイパスでなく、現在の道路を拡幅してほしい」など、たくさんの意見や要望が出されました。

平成20年9月8日・9日（平尾中学校調べ）

平尾交差点交通状況

方向別	鷹巣方面から		指江方面から		茅屋方面から	
	指江方面へ	茅屋方面へ	鷹巣方面へ	茅屋方面へ	鷹巣方面へ	指江方面へ
	22%	8%	37%	9%	10%	14%

意見交換会

